

衛生・公衆衛生学

担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第2学年 後期

後期 講義 19.5時間 演習 3時間 実習 6時間

教育成果（アウトカム）

講義：疾病の原因、リスクならびに健康要因とその管理方法への包括的理解を得ることで、歯科保健医療分野における地域住民のリスク管理ならびに地域の環境改善に貢献できるようになる。

実習：衛生・公衆衛生の講義で修得した知識を深化させることにより、全身ならびに口腔の健康には、社会・文化的背景が大きく影響していることが理解できるようになる。

（ディプロマ・ポリシー：1、6、8）

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月5日（火） 2限	岸光男教授	公衆衛生総論 公衆衛生学の概念と役割を理解する。	1. 公衆衛生学を適用する現代社会の背景を理解できる。 2. 健康の概念を概説できる。 3. 疾病の概念を概説できる。 4. 第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 5. プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。
12月12日（火） 2限	岸光男教授	疫学Ⅰ（総論） 疫学について理解する。	1. 疫学の概念を説明できる。 2. 疫学の研究方法を列挙できる。 3. 疫学の研究方法と適用を説明する。 4. 疫学指標（相対危険度、寄与危険度、オッズ比）を説明できる。
12月19日（火） 1限	南健太郎助教	疫学Ⅱ（口腔疾患の疫学指標） 口腔疾患の疫学指標について理解する。	1. 歯科疫学調査の特性を概説できる。 2. 齲蝕の疫学指標を列挙できる。 3. 歯周疾患の疫学指標を列挙できる。 4. 口腔清掃度の疫学指標を列挙できる。 5. その他の歯科疾患（歯のフッ素症、不正咬合、など）の疫学指標を列挙できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
12月19日(火) 2限	岸光男教授	疫学Ⅲ (スクリーニング) 疫学調査と集団健診(スクリーニング)について理解する。	1. 標本抽出の目的を説明できる。 2. 標本抽出法を列挙できる。 3. スクリーニングの意義を説明できる。 4. スクリーニングの有効性の指標を列挙できる。
1月5日(金) 2限	岸光男教授	疫学Ⅳ (EBM、疫学演習) 科学的根拠に基づいた医療(EBM)を理解する。 疫学指標を算出できる。	1. EBMを概説できる。 2. 根拠ある歯科疾患の予防法を列挙できる。 3. 疾病リスクを数量的に評価できる。 4. スクリーニングの有効性を数量的に評価する。
1月9日(火) 1限	南健太郎助教	環境と健康Ⅰ (地球環境保全、公害、温熱環境、大気物質) 環境問題について理解する。	1. 主な地球環境問題を列挙できる。 2. 主な世界環境保全のための条約を列挙できる。 3. 地球温暖化の原因と影響を説明できる。 4. 日本の代表的公害事例を列挙できる。 5. 環境基本法を概説できる。 6. 空気の正常・異常成分を列挙できる。 7. 大気汚染物質による健康影響を説明できる。
1月9日(火) 2限	南健太郎助教	環境と健康Ⅱ (水質・騒音・廃棄物) 環境と健康との関わりを理解する。	1. 生活用水の取水から排水までの経路を概説できる。 2. 浄水法を説明できる。 3. 上水道の水質基準を列挙できる。 4. 汚水処理法を説明できる。 5. 水質汚濁による健康影響を説明できる。 6. 騒音・振動の健康影響を説明できる。 7. 廃棄物処理を概説できる。
1月12日(金) 1限	岸光男教授	感染症の予防 感染症の成立と予防について理解する。	1. 感染症の成立要素を列挙できる。 2. 感染症成立要素に応じた対策を概説できる。 3. 感染症法に基づく感染症列挙できる。
1月12日(金) 2限	岸光男教授	非感染症の予防 非感染症の成立と予防について理解する。	1. 非感染症の要因と成り立ちについて説明できる。 2. 主な非感染症を列挙できる。 3. 非感染症の原因と予防について説明できる。
1月16日(火) 1限	岸光男教授	保健医療統計Ⅰ (統計解析法)	1. 変数の種類を列挙できる。 2. 変数に応じたグラフ表現ができる。 3. 基本的な理論分布を説明できる。 4. 統計学的解析法(t検定、F検定、 χ^2 検定、相関係数、順位相関係数)を説明できる。
1月16日(火) 2限	非常勤講師 米満正美先生	人口問題 人口問題の公衆衛生学的意義を理解する。	1. 我が国の人口の問題を概説できる。 2. 人口静態の指標を列挙できる。 3. 人口動態の指標を列挙できる。 4. 人口指標の数値の推移を概説できる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月23日(火) 1限	相澤文恵准教授 (心理学・行動 科学分野)	健康と食生活Ⅰ 栄養と健康について理解 する。	1. 健康と栄養との関係を概説できる。 2. 国民栄養の現状について説明できる。 3. 日本人の食事摂取基準について説明できる。
1月23日(火) 2限	相澤文恵准教授 (心理学・行動 科学分野)	健康と食生活Ⅱ 栄養と健康について理解 する。	1. 食中毒の原因を列挙できる。 2. 特定保健用食品・栄養機能食品を説明できる。 3. 食品の安全性について説明できる。 4. 食育基本法を概説できる。
1月23日(火) 3限	岸光男教授	保健医療統計Ⅱ(国の統計 調査) 国の行う保健医療調査を 理解する。	1. 基幹統計を列挙できる。 2. 一般統計を列挙できる。 3. 重要な保健医療統計を外接できる。
1月23日(火) 4限	岸光男教授	保健医療統計演習 保健医療統計の応用につ いて理解する。	1. 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率)を算出できる。 2. 主な統計指標(平均値、中央値、最頻値、四分位、分散)を算出できる。 3. データに適した統計解析法を選択できる。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標
1月9日(火) 1月16日(火) 3、4限	岸光男教授 南健太郎助教	環境衛生実習 環境衛生について理解する。	1. 水質検査を行うことができる。 2. 感覚温度を求めることができる。 3. 空気の成分を測定することができる。 4. 測定値から生活環境を評価することができる。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	スタンダード衛生・公衆衛生 15版	安井利一、神原正樹、荒川浩久編	学建書院	2017年
参	国民衛生の動向 2016/2017(「厚生 の指標」 臨時増刊号)	厚生労働統計協会編	厚生労働統計協会	2016年

成績評価方法

<p>定期試験 90% 講義・実習態度、ポートフォリオ 10% で評価する。</p>
--

特記事項・その他

提出されたレポートは、採点后コメントをつけて返却する。

授業に使用する機械・器具と使用目的

[衛生・公衆衛生学]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
複写機	MEDIOir3300F	1	基礎実習・研究用機器	資料の作成・印刷
ノートパソコン	LetsnoteB3ノート CF-E5KW8AAXS	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
パソコン一式	ThinkPadT43P266 8-Q2J	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習のプレゼンテーション用
簡易設置型100スクリーン		1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
インテリジェントプロジェクター	ip40B	1	視聴覚用機器	基礎実習時のプレゼンテーション用
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作製用
ノートパソコン・Let's note 一式	CF-S9LWEJDS	1	視聴覚用機器	講義用
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3	1	視聴覚用機器	症例提示用
カラーレーザープリンタ・ 一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC-MK33MLZE14 SM他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3 対応カラープリンタ・ 一式	LBP9100C	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用